

simc News Letter

Sendai International Music Competition

2026年2月号

仙台国際音楽コンクールニュースレター

第9回仙台国際音楽コンクール優勝記念

「エリザヴェータ・ウクラインスカヤ ピアノ・リサイタル 東京公演」演奏評

長井進之介（音楽評論家）



©Tomoko Hidaki

「エリザヴェータ・ウクラインスカヤ
ピアノ・リサイタル 東京公演」

日時：2025年12月17日（水）19:00開演

会場：浜離宮朝日ホール

ピアノ：エリザヴェータ・ウクラインスカヤ

曲目：

プロコフィエフ：「シンデレラ」からの10の小品 op.97

ラフマニノフ：楽興の時 op.16

ムソルグスキー：組曲「展覧会の絵」

多彩な音色、真摯な楽曲との対峙でロシア音楽の魅力を変えたウクラインスカヤ

第9回仙台国際音楽コンクールピアノ部門で第1位および聴衆賞を受賞したロシアのピアニスト、エリザヴェータ・ウクラインスカヤの優勝記念リサイタルが2025年12月17日、浜離宮朝日ホールで行われた。

ウクラインスカヤはコンクールでモーツァルトやドビュッシー、リストにチャイコフスキーを演奏し、磨き上げられた技術と音色の美しさ、躍動感にあふれた音楽性で魅せたが、リサイタルではプロコフィエフにラフマニノフ、ムソルグスキーというオール・ロシアン・プログラムを披露。技術の確かさはもちろんだが、楽器と一体化して楽器を豊かに鳴らし、スケールの大きな音楽づくりで聴衆を魅了した。

最初に演奏したのはプロコフィエフの《「シンデレラ」からの10の小品 op.97》。バレエ音楽の編曲作品であり、各曲が登場人物のキャラクターや情景を豊かに描写しており、多彩なリズムによって構成されている。ウクラインスカヤは細やかなタッチのコントロールによって各舞曲の性格を鮮やかに弾き分けるのと同時に様々な音色を楽器から引き出し、オーケストラを思わせるのびやかで多層的な音色を作り上げていた。

とりわけ第4曲〈冬の精〉の冷たく澄んだ空気の出、第6曲〈東洋の踊り〉における異国情緒に溢れた雰囲気、第10曲〈アダージョ〉における幸福感に満ちた表現が印象深く、ウクラインスカヤの表現力の幅広さを改めて実感することとなった。

裏面に続く

最高位受賞記念リサイタル【仙台公演】公演概要

ムン・ボハ

ヴァイオリン・リサイタル

日時：2026年5月24日（日）14:00開演

エリザヴェータ・ウクラインスカヤ

ピアノ・リサイタル

日時：2026年6月7日（日）14:00開演



詳細はこちら

【会場】日立システムズホール仙台 コンサートホール

【料金】一般3,500円、ムン&ウクラインスカヤのセット券 5,500円 ほか

仙台市市民文化事業団、藤崎、チケットぴあ、ローソンチケット、イープラス ほかで販売中



■お問い合わせ／公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel:022-727-1872 Fax:022-727-1873 Email:info@simc.jp URL:https://simc.jp

続いての楽曲はラフマニノフの《楽興の時 op. 16》。自身が優れたピアニストであった作曲者ならではの豪快な技巧が散りばめられた作品であり、同時にロシアの広大な土地や雪景色なども感じさせる、若きラフマニノフの傑作である。第1曲では早速《シンデレラ》の〈冬の精〉にも通じる、身体の内まで冷え切ってしまうような雪景色の美しさと恐ろしさを音色で創り出していく。研ぎ澄まされた空気の中で旋律が豊かに響き、ロシアの空気と大地を本当に知る者だからこそできる演奏を聞かせてくれた。第2曲、第4曲は曲集のなかでもとくに技巧的な楽曲であり、急速な指さばきで膨大な音を弾き切らなくてはならないのと同時に、そこから抒情的で心を打つ旋律を浮かび上がらせなくてはならない。非常にドラマティックでありながら、ただ激しくなってしまうとは本来の魅力が損なわれてしまう。しかしウクラインスカヤは当然のようにこの難曲を鮮やかに弾き切っていくのと同時に、豊かな歌心で旋律を丁寧に歌いあげ、楽曲の魅力を変えて聴き手へと届けてくれた。第3曲の悲しみと孤独に満ちた雰囲気、第5曲の包み込まれるようなあたたかさなど、対照的な楽曲もそれぞれの色彩を丁寧に聞かせ、最後の第6曲は聴き手の身体の内底まで響くような力強い響きでまとめあげていった。

演奏会最後に演奏されたのはムソルグスキーの組曲《展覧会の絵》。この曲はウクラインスカヤの人生にとって「中心的存在」の楽曲だという。様々な技巧、表現上の工夫が凝らされた楽曲であり、演奏者によって全く違った色合いや響きに満ちていく。ウクラインスカヤはこの曲のメインを「最も静かな曲である〈死せる言葉による死者への呼びかけ〉(第8曲：カタコンブの後半部分)」だと語っており、実際に当日の演奏もそれを中心とした組み立て方になっていた。楽曲のなかで繰り返されながら姿を変えていく〈プロムナード〉を聴いているととくにわかりやすく、ウクラインスカヤがこの曲集から非常に内面的なものを引き出そうとしていることが見えてくる。様々な絵画を見ながら心動かされ、自身と向き合っていく登場人物の姿が浮かび上がってくるような演奏は、この作品が非常に劇的でありながら、作曲者の心の動きを丁寧に描いたものであるということがわかるものである。多くのピアニストが挑むこの大曲の新しい一面を真摯に見せてくれた。

この日ウクラインスカヤが聞かせてくれた3曲を通して、改めてロシアの音楽の魅力、そしてそれらが内包するものを堪能した。

第9回仙台国際音楽コンクール公式ライブCD販売中!



ムン・ボハ ヴァイオリン部門最高位

FOCD9927

〔収録曲〕ブルッフ:スコットランド幻想曲 op.46
ドヴォルザーク:ヴァイオリン協奏曲 イ短調 op.53
モーツァルト:カッサシオン長調 K63からV.アダージョ

〔指揮〕広上 淳一

〔管弦楽〕仙台フィルハーモニー管弦楽団



エリザヴェータ・ウクラインスカヤ ピアノ部門優勝

FOCD9928

〔収録曲〕モーツァルト:ピアノ協奏曲 ハ長調 K467
チャイコフスキー:ピアノ協奏曲 第1番 変口短調 op.23

〔指揮〕高関 健

〔管弦楽〕仙台フィルハーモニー管弦楽団



詳細はこちら

定価:2,640円(税込)(2025年12月3日発売)

販売元:株式会社フォンテック

取り扱い:全国のCDショップほか

制作:公益財団法人仙台市市民文化事業団